

# 鳥取県の買物環境確保に向けた動き

令和 6 年 3 月

鳥 取 県

# 目次

I	はじめに	・・・P1
II	買物環境確保に係る施策の種類	・・・P2
III	JA系スーパーの一斉閉店に伴う本県の動き	・・・P2
IV	各地域の動き	
1	地域スーパー	
	<地域・行政・事業者連携店舗>	
	(1) 関金ストア (倉吉市)	・・・P6
	(2) ゆるりん館 (湯梨浜町)	・・・P7
	(3) エスマートわかさ店 (若桜町)	・・・P8
	<地域住民、団体による店舗>	
	(4) 生活の窓口食味 (三朝町)	・・・P9
	(5) あいきょう (日野町)	・・・P10
	(6) えんちゃん (江府町)	・・・P11
	(7) なだて明るいノーソン (倉吉市)	・・・P12
	(8) 支え愛の店ながえ (米子市)	・・・P13
2	移動販売	
	(1) さじ式拾壺 (鳥取市)	・・・P14
	(2) フードセンター小嶋 (若桜町)	・・・P14
	(3) 創美 (岩美町)	・・・P15
	(4) とくし丸 (東部・中部地域)	・・・P15
3	移動支援	
	(1) のりりん (智頭町)	・・・P16
	(2) タクシー助成 (北栄町)	・・・P17
	(3) デマンドバス (大山町)	・・・P17
	(4) 予約型乗合タクシー (倉吉市)	・・・P18
	(5) 買物バス運行 (若桜町、八頭町)	・・・P19
4	その他	
	(1) 買物代行サービス (倉吉市)	・・・P20
	(2) オンライン発注システム実証事業 (八頭町、米子市)	・・・P21
	(3) 給食食材の受入体制整備 (琴浦町)	・・・P22

## I はじめに

- 本県では、県内の JA 系スーパー等 20 店舗（東部 9 店舗、中部 7 店舗、西部 4 店舗）が令和 5 年度中に一斉閉店することとなり、中山間地域を中心に住民の暮らしが脅かされる危機的状況となりました。
- 買物環境は地域における重要な社会生活基盤の一つであり、スーパーの閉店は単に買物するだけでなく、交流機会の減少や地域の活力低下、高齢者の健康面への影響や生活し続けることへの不安の増大など、地域の存続に関わる問題になっています。
- 県では、この問題に対し県庁内に部局の縦割りを排した「買物環境確保推進課」を設置するとともに、県・市町・JA による対策協議会を開いてそれぞれの役割を明確化し、まずは現場に近い市町村が地元の実情を踏まえた店舗ごとの「買物環境確保計画」を策定し、主体性を持って解決策に取り組み、県は市町村の計画に沿った取組を財政面を含めて包括的かつ柔軟に支援する仕組みを確立しました。
- 結果、県内各地で買物環境確保の動きが出始め、各市町村では県の支援制度も活用しながら、地域住民や地元事業者による店舗承継、住民団体によるスーパー誘致や移動販売の充実などそれぞれの地域の実情を踏まえた様々な買物環境確保対策が行われ、地域の特性に沿った形での買物環境の再生が進んでいます。
- 県では県民の皆様がこれからも住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、引き続き市町村と一緒に買って買物環境の維持・確保に努めるとともに、各地域での対策を参考としてご活用いただくことを目的として本県の買物環境確保に向けた取組をまとめました。

## II 買物環境確保に係る施策の類型

買物環境確保の施策はタイプ別に次のように区分される。

内容	手法	各地域の動き（IV）
買物ができる場所の提供	店舗設置	1（1）関金ストア（倉吉市） 1（2）ゆるりん館（湯梨浜町） 1（3）エスマートわかさ店（若桜町） 1（4）生活の窓口食味（三朝町） 1（5）あいきょう（日野町） 1（6）えんちゃん（江府町） 1（7）なだて明るいノーソン（倉吉市） 1（8）支え愛の店ながえ（米子市）
	移動販売	2（1）さじ貳拾壱（鳥取市） 2（2）フードセンター小嶋（若桜町） 2（3）創美（岩美町） 2（4）とくし丸（東部・中部地域）
移動手段の提供	共助交通・公共交通	3（1）のりりん（智頭町） 3（2）タクシー助成（北栄町） 3（3）デマンドバス（大山町） 3（4）予約型乗合タクシー（倉吉市）
	買物バス	3（5）買物バス運行（若桜町、八頭町）
商品を届ける	買物代行	4（1）買物代行サービス（倉吉市）
	オンライン注文	4（2）オンライン発注システム実証事業（八頭町、米子市）

## III JA系スーパーの一斉閉店に伴う本県の動き

### 1 JA系スーパーの一斉閉店

令和5年2月、県東部でスーパーマーケットなどの店舗事業を展開するトスク（JA鳥取いなばの100%子会社）が、本店を含めたスーパー全9店舗を閉店する方針であることがマスコミ各社で報じられた。続けざまにJA鳥取中央のAコープ等全7店舗も閉店することが判明した。さらに、令和5年8月30日にはJA鳥取西部が、上半期の経営状況を踏まえAコープ全4店舗を閉店することを決定した。このため、令和6年3月までに本県のJA系スーパー全20店舗が閉店することとなり、本県の買物環境は全国でも類をみない危機的状況となった。

## 2 本県の取組

### (1) 買物環境確保推進課の設置

このトスク・Aコープの一斉閉店は、地域に根差した店舗も多く、若桜町や旧名和町地区のようにスーパーが1店舗しかない地域もあるなど、住み慣れた地域での暮らしを揺るがす県域に及ぶ危機的事態であることから、本県では、部局の縦割りを排し、機動的に地元・JA・事業者等と連携して政策を推進するため、新たな組織を設置（R5.4.24設置）し、県内の買物環境の維持・確保の施策を進めることとした。

課名：買物環境確保推進課

構成：職員12人で構成（専任4人＋兼務8人（商工労働部、農林水産部等））



### (2) 関係者による役割分担と今後の進め方の決定

令和5年5月1日に「市町・JA・県による買物環境確保に係る対策協議会」（出席者：県、関係市町、JA）を開催し、関係者各々の役割分担を明確にし、緊密に連携しながら、今後の対応を進めることを確認するとともに、今後の進め方として、現場に近い市町村が地元のニーズをキャッチし、実情を踏まえた店舗ごとの「買物環境確保計画」を策定し、県は市町村の計画に沿った事業を財政面含めて支援する方針を確認した。

## 今後の進め方（県・市町村・JA間で決定）

- ✓ トスク・Aコープ等の店舗閉店に伴う地域の実情、ニーズ等の把握
- ✓ 市町村が地域の事業者や実情に即して、住民のニーズに応じた店舗ごとの持続可能な「**買物環境確保計画**」を策定。
- ✓ 県は、市町村からの「買物環境確保計画」を踏まえ、市町村と地元が一体となった持続可能な買物環境の確保に向けて支援
- ✓ 「買物環境確保計画」に基づいた買物関係施設整備や移動販売等を関係機関が運営

市町村：地域の事業者や実情に即して、住民のニーズに応じた店舗ごとの持続可能な「買物環境確保計画」を策定

県：県は買物計画の報告に基づき、市町村に財政措置を含めてサポート

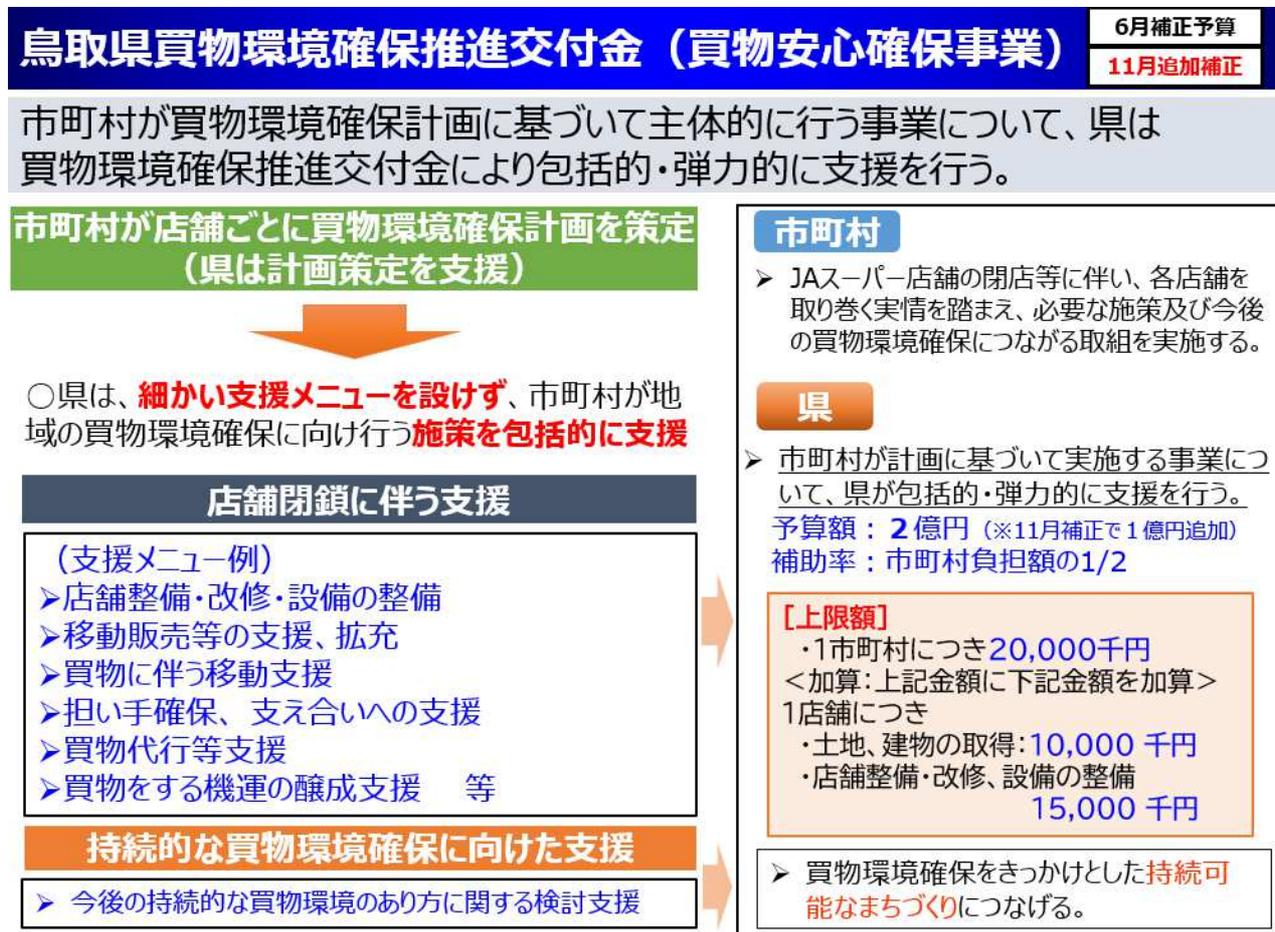
JA・関係団体：計画推進に向けて協力

（出典）市町・JA・県による買物環境確保に係る対策協議会（R5.5.1）会議資料

### (3) 買物環境確保推進交付金の創設

県は、令和5年6月補正予算で買物環境確保推進交付金を創設し、市町村が買物環境確保計画に基づいて主体的に行う事業について、包括的、弾力的に支援を行うこととした。

(6月補正予算1億円に、11月補正予算で1億円予算を増額し、令和5年度は2億円の予算で取組を支援。)



### (4) 東中西部の店舗承継等の状況 (R6. 3. 15 時点)

行政、JA、地域団体、小売事業者等の関係者が連携し、各地域の実情に合わせた店舗承継等を進めている。

#### 1 トスク・A コープ関係店舗の状況

項目	店舗（閉店日）	対応状況
承継	若桜店 (9/30)	エスマートわかさ店として11月28日オープン
	ちづ店 (9/30)	エスマートちづ店として12月19日オープン
	赤碕店 (9/15)	東宝企業が東宝ストア赤碕店として10月6日オープン
	生活センター竹田 (9/29)	地域住民が「生活の窓口食味」として10月29日オープン
	名和店 (R6. 1. 15)	エムマート（大山町）がエムマート名和店として3月3日オープン
	みぞくち店 (R6. 1. 15)	丸合が近隣店舗を移転する形で承継し、4、5月開店予定

項目	店舗（閉店日）	対応状況
	よどえ店（R6. 1. 22）	（有）ナベシマエステート（米子市）が業務スーパーとして承継し4月に開店予定
承継交渉中	用瀬店（9/30）	複数企業と交渉中
	丹比店（9/30）	複数企業と交渉中
	トピア店（R6. 3/26）	承継先探しと店舗後利用を検討中
	大高店（R6. 1. 22）	複数企業と交渉中
現時点で承継予定無し	河原店（7/31）、ふなおか店（7/31）、フレッシュライフいわみ（9/30）、せきがね店（9/26）、ポプラJA山守店（9/30）、ポプラJA三徳店（9/30）	
その他	倉吉市関金地区	関金地区振興協議会が蒜山の「みかもストア」を誘致し、行政・地域住民・事業者が一体となった運営を行う（R6. 3. 31 オープン予定）。店舗名は公募し「関金ストア」に決定。
	本店（9/30）	R6. 6以降解体予定
	吉成店（9/30）	エスマートに売却
	下北条店（9/29）	オーエヌプランニング（琴浦町）が総合リサイクルショップ「ハッピージャム」として承継し、R6. 夏頃までのオープンを目指す。

## （５）各市町・地域の主な買物環境確保対策（R6. 3. 15 時点）

住民が将来にわたり住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう行政、地域団体、JA、事業者など関係者が連携し、それぞれの実情に合わせた買物環境確保対策が進められてきた。

- 【鳥取市】 トスク用瀬店閉店に伴い、共助交通「いきいき社バス」及び「さじ未来号」が河原町のスーパーまで運行延伸。既存移動販売業者による運行便数の増加。
- 【岩美町】 町営バスのルート変更等による「買物便」の増便。10月24日より地元事業者（創美）が、トスクが行っていた移動販売を引継ぎ。
- 【若桜町】 10月16日より地元業者（フードセンター小嶋）が移動販売を開始。エスマートわかさ店オープン後は奥部を中心にエリアを絞って継続実施。
- 【智頭町】 町内店舗への既存のAI乗合タクシー（のりりん）による買物利用。
- 【八頭町】 閉店店舗（ふなおか・丹比）近くで既存移動販売事業者が毎週土曜に販売。また、丹比店閉店に伴い、65歳以上の方を対象とした若桜鉄道定期券の購入助成事業を実施。
- 【倉吉市】 関金地区振興協議会による買物バスツアー、買物代行サービスを実施。
- 【北栄町】 町内の他店舗への移動支援として、閉店店舗エリアの住民を対象に、町内一律300円で乗車できるタクシーチケットを追加配布。
- 【米子市】 県内IT企業が中心となり、インターネットを活用したスーパー商品の宅配サービスの実証を米子市内3地区（明道地域、県地域、尚徳地域）で実施（R6. 2末まで）。
- 【大山町】 既存町営デマンドバスの運賃見直し（一律100円）等の試験運行を実施予定（R6. 4～9月）
- 【江府町】 地域交流拠点施設整備事業として、道の駅奥大山の向かい側に住宅整備事業と合わせ交流施設等を整備。うち商業施設として町内の地元スーパー（えんちゃん）の新築移転整備も行う。

## IV 各地域の動き

### 1 地域スーパー

#### <地域・行政・事業者連携店舗>

##### (1) 関金ストア（倉吉市）

###### 概要

倉吉市がスーパーの開設場所（関金総合文化センター）の使用を許可し、関金地区振興協議会が実施主体となって、「(有)みかもストア」（岡山県真庭市でスーパーを経営）に運営を委託するという地域連携によるスーパー運営を実現。（令和6年3月31日オープン）

###### 経緯

形態：住民団体運営店舗

閉店日：令和5年9月26日（Aコープせきがね店）

承継状況：地区内のJA系スーパーの承継はされなかったが、同地区内に新たに住民誘致による「関金ストア」を設置。

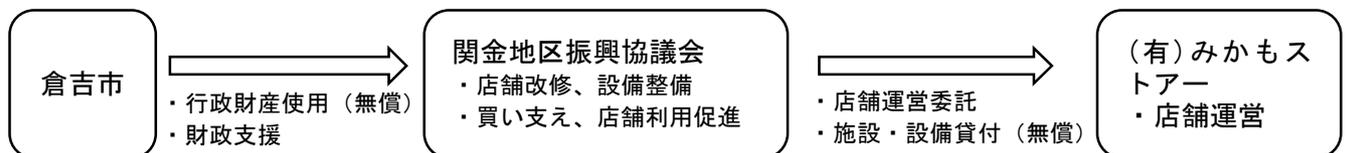
###### 取組内容

- ・Aコープせきがね店、ポプラ山守店の閉店にあたり、地域の買物環境を確保するため、関金地区振興協議会が中心となって検討を進め、関金総合文化センター内に関金地区振興協議会が実施主体となり、地域スーパーを設置することとした。
- ・地域スーパーの運営については、「(有)みかもストア」を誘致し、運営委託することで、スーパー経営に精通した事業者による効率的な店舗運営を目指す。
- ・関金総合文化センターへの地域スーパー設置について、倉吉市も店舗設置に伴う庁舎の改修、店舗設置区画の使用料免除など、振興協議会の取組を支援し、地域・行政・事業者が一体となった地域スーパーの開設を進めている。
- ・関金地区振興協議会は、この他にも買物バスツアーや買物代行サービスに取り組むなど、地域の買物環境の確保に向けた積極的な取組を進めている。
- ・地域に愛される店舗設置との思いから、新しい店名について地元から募集。90件の応募の中から令和5年12月18日に地区振興協議会、(有)みかもストアで協議の上「関金ストア」の名称を決定。

###### ポイント

- ・地域、行政、事業者が連携し、地域に根差したスーパーの運営を目指している。

#### <店舗設置のスキーム>



関金地区振興協議会の開催



倉吉市長への要望活動



庁舎改修の様子

## (2) ゆるりん館 (湯梨浜町)

### 概要

旧Aコープ跡の施設を湯梨浜町がリフォームし、コミュニティスペース、カフェ、買物(マルシェ)など、多世代、地域内外の方々の交流の場を整備。指定管理の形式で第3セクターが店舗を運営。

### 経緯

形態：公設民営店舗

閉店日：平成26年6月(Aコープ東郷店)

承継状況：「交流センターゆるりん館」として平成30年11月5日オープン。

### 取組内容

- ・湯梨浜町が、「生涯活躍のまち基本計画」(H28策定)に基づき、地方創生事業として、旧Aコープ店舗(H26年6月閉店。床面積470.48㎡)をリニューアル。H30年11月開設。
- ・「湯梨浜まちづくり株式会社」(湯梨浜町(発起人)、㈱コミュニティネット(東京都/発起人)、事業者、金融機関等により構成)を指定管理者に選定。
- ・住民、移住者、来町者等の多世代地域交流を促進し、にぎわい創出を図る施設とするため、コミュニティスペース、相談室、カフェ、買物(スーパー)など併設。開設5年目を迎え地域の拠点として定着。
- ・(一社)SORTE(ソルテ：就労継続支援A型事業所)が運営する移動販売の拠点施設でもある。

### ポイント

- ・第3セクターによるスーパーの運営を実現。

#### 民間の力を活用する湯梨浜まちづくり株式会社の設立

##### <会社概要>

- 設立 平成28年12月7日
- 出資金 1,360万円
- 所在地 湯梨浜町龍島500番地  
(役場東郷支所2階A室)

湯梨浜まちづくり株式会社は  
何をするのか

- ①移住の促進  
(移住コーディネート、お試し住宅の運営)
- ②Aコープ跡地・町有地を利活用した  
「多世代交流拠点・総合相談センターどれみ」  
の運用
- ③住環境の整備に関する取り組み
- ④ふるさと納税業務受託 など



湯梨浜まちづくり株式会社  
YURIHAMA MACHIDUKURI Co., Ltd.

##### なぜ、まちづくり会社が必要なのか

- 「生涯活躍のまち」を推進するに当たり、営利な事業が発生するため官民連携の事業体(まちづくり会社等)が必要である。
- 事業推進にあたって、スピード感や原価管理が重要であり、民間の知恵が求められる。



### (3) エスマートわかさ店（若桜町）

#### 概要

トスク若桜店の閉店が報じられた後、若桜町はいち早く公設民営方式による店舗存続の方針を打ち出し、承継事業者の誘致に乗り出した。既存店舗の取得（土地・建物を所有者から買収）や店舗改修、承継先事業者への設備整備の支援や開業支援を行うとともに、地域商品券の発行による町民の購買意欲の醸成など、多角的に取組を進めた。

#### 経緯

形態：公設民営店舗

閉店日：令和5年9月30日（トスク若桜店）

承継状況：エスマートわかさ店として令和5年11月28日開店

#### 取組内容

- ・既存店舗の土地・建物は県外在住の地権者（若桜町からの転籍者）が所有しており、町が精力的に交渉を行い、土地・建物を購入し承継する事業者へ有償貸し付け（トスク時の貸付額より大幅に減額）する公設民営方式を採用することで、スーパーの誘致を実現した。
- ・承継事業者が行う店舗改修、冷凍・冷蔵庫等の設備導入及び広告料等の開業準備等を町が県の買物環境確保推進交付金を活用し、財政的に支援した。
- ・地域の商店で利用可能な地域商品券（1万円/人）を発行することで、エスマートわかさ店を含め地元での買物の機運醸成を行った。
- ・トスク若桜店の閉店から承継事業者による店舗オープンまでの間、緊急的に町が買物バスを運行し、空白期間の移動手段を確保した。
- ・トスク若桜店閉店に伴い、トスクが行っていた移動販売が廃止されたが、町内の個人商店（フードセンター小嶋）が移動販売事業を引き継ぎ、町内の奥地集落の買物環境を補完した。

#### ポイント

- ・町内唯一のスーパーの閉店を受け、町が全面的に対策を講じたことで地元スーパーや移動販売の存続を実現した。



エスマートわかさ店オープン！（11/28）



フードセンター小嶋が移動販売を引き継ぎ、営業を開始！（10/16）

#### 若桜町「買い物バス」の運行について

<時刻表>

若桜駅発	エスマート(津ノ井店)着	エスマート(津ノ井店)発	若桜駅着
13:45	14:25	15:05	15:45
行き 40分		店続滞在 40分	
ご自宅から若桜駅まで町営バス・日交バスをご利用の方は下記の記事をご利用ください		帰り 40分	
【行き】・町営バス巻米線 13:34 若桜駅着 / 津折・吉川線 13:36 若桜駅着			
・日交バス(八幡若桜線) 12:59 若桜駅前着			
【帰り】・町営バス巻米線 16:10 若桜駅発 / 津折・吉川線 16:06 若桜駅発			
・日交バス(八幡若桜線) 16:03 若桜駅前発			
※町営バスデマンド線、共助交通(わあすかてごらくらく)もご利用ください			

#### <10月の運行カレンダー> 黄色がバスの運行日です

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

#### <備考>

- ・目的地(エスマート津ノ井店)以外での停車は行いません。
- ・若桜駅以外での乗降はできませんのでご了承ください。
- ・当日、若桜駅発の乗客がなかった場合は運行を休止します。
- ・悪天候等により運休する場合には町防災無線等でお知らせします。



トスク若桜店の閉店(9/30)後、買物バスの運行を開始(10/2~)

## <地域住民、団体による店舗>

### (4) 生活の窓口<sup>しよくみ</sup>食味 (三朝町)

#### 概要

生活センター竹田 (JA 系小売店) の閉店を受け、地域住民 (個人) が店舗を承継し、「生活の窓口食味」として10月29日にオープン。

※承継者は隣の地区で食堂を経営。

#### 経緯

形態：住民運営店舗

閉店日：令和5年9月29日 (生活センター竹田)

承継状況：「生活の窓口食味」として令和5年10月29日開店

#### 取組内容

- ・ 地区には車を持たない高齢者も多く、スーパーがなくなり、「買い物に困る」との地域住民の切実な声に動かされ、承継者は「地区にあった小学校も閉校し、このままではどんどん寂れるだけ。地域を守りたい。」との思いから、閉店店舗の後継者になることを決断。承継者の家族で店舗経営を切り盛りする。
- ・ 当初、営業時間は午前9時から午後3時まで、土日・祝日は休業することとしていたが、地域の要望を聞いて、営業日・時間を変更 (月～土曜日の朝9～午後4時) した。
- ・ 「地域みんなが困りごとを相談できる拠点にしたい。」と店舗内に交流スペースを整備することも検討している。
- ・ 竹田地域協議会が、当店舗を利用施設とする地域通貨を発行し、地域内での知名度向上のため協議会の会報紙への掲載を行うなど、地域も一丸となって店舗運営をフォローしている。
- ・ 店舗の土地・建物は、JAと賃貸借契約を締結。承継者が運営する食堂「食味」の弁当等の販売も検討。

#### ポイント

- ・ 地域住民が閉店店舗の承継に乗り出し、地域協議会もこの運営をフォローしながら、持続的な買物環境の確保に努める。



令和5年10月29日

オープン

竹田地域協議会会報で広報  
(竹田通信 (R5.12) 抜粋)



明るくなった店内



店内に飲食コーナーも設置



生活の窓口食味営業中!!

10月29日より営業されている生活の窓口「食味」。お店の入り口には毎日新鮮野菜や果物などが並んでいます。

竹田地域協議会

○竹田公民館・体育館の利用は事前の予約が必要です。  
○各施設の利用の際は、利用日誌の記入・利用後の清掃・ゴミの持ち帰りをお願いします。  
事務局員 小坂

事務局勤務日 月・金曜日 午前9時～午後13時

休日：日曜日・お祭・年末年始  
※都合により変更になる場合もあります。ご了承ください。

## (5) あいきょう (日野町)

### 概要

店舗承継をリレーしながら店舗を存続させ、地域の買物環境危機を乗り越えるとともに、高齢者の見守りや暮らし支援に取り組む。

### 経緯

形態：地域合同会社運営店舗

閉店日：令和4年9月（あいきょう黒坂店）

承継状況：合同会社ひまわりが承継し、店舗名は地域で親しまれている「あいきょう」のままとした。

### 取組内容

- ・黒坂生活センター（JA系スーパー）が平成17年に閉店すると、町内別地区（根雨）で「あいきょう根雨店」を運営していた地元会社が同店を「あいきょう黒坂店」として承継するも令和4年9月に閉店。
- ・「あいきょう黒坂店」の閉店により、地域の買物環境危機に直面したが、日野町が「あいきょう黒坂店」及び移動販売事業等を承継する事業者を公募し、応募のあった2者のうち「合同会社ひまわり」を選定。
- ・「合同会社ひまわり」は、翌月（R4.10）に店舗及び移動販売の事業を承継し、日野町の受託事業「ささえ愛コンビニ・プロジェクト」を開始した。訪問頻度や時間、訪問地域をなるべく変えず、従来提供していたサービスに加えて「高齢者暮らし支援業務（電球交換、ご用聞き、買物代行など）」と多様な品揃えを加えたサービスを提供している。（スーパーの名称は地域住民になじみのある「あいきょう」のままとしている。）
- ・合同会社ひまわりと日野町および鳥取県が「中山間集落見守り活動協定」を結び、町内全域の移動販売に合わせ、見守りを行い、活動中に何らかの異常を発見した際には、日野町に連絡を行うこととなっている。
- ・移動販売事業は、日南町の一部も回るなど、中山間地域の買物環境の確保に貢献。
- ・H20年からは、早稲田大学の学生を中心とした学生グループ「つなぎやAiTai（あいたい）」によるインターンシップを受け入れ、役場や各集落と一緒に協力し、町ぐるみで学生たちと交流を行うなど、地域づくり活動にも積極的に取り組んだ。

### ポイント

- ・地域店舗の他、移動販売事業も手掛け、地域の買物環境の中核を担う。



## (6) えんちゃん (江府町)

### 概要

新しいまちづくりの一環として、地域スーパー「えんちゃん」を現在地（江尾地区）から地域交流拠点施設を整備中の佐川地区（道の駅「奥大山」傍）へ移転し、立地条件の改善（狭い町道沿い→アクセスし易い国道沿いへと移転）と専用駐車場の確保を図ることで、より多くの利用者を見込み、長期的に安定した経営を目指す。

### 経緯

形態：公設民営店舗

承継状況：既存店舗（江府町江尾）の交流拠点施設（江府町佐川）への移転

### 取組内容

- ・「えんちゃん」は、江府町江尾地区に店舗を構え、店舗経営から全集落に出向く移動販売事業に取り組む町内唯一のスーパーで、町民にとって最も身近なスーパーであるとともに、移動販売事業に併せて江府町の高齢者見守り事業にも取り組んでいる。
- ・また、同店は町内の保育所・義務教育学校の給食用食材の配送も担い、町として欠かせない存在となっている。
- ・既存店舗は創業から長年経過し、施設の老朽化が目立ち、専用駐車場も整備されていないことから、町が整備した施設へ移転し、えんちゃんが運営することで、町内唯一のスーパーの存続を図る。
- ・移転元である江尾地区に対しては、移動販売車の巡回等により、引き続き買物環境を提供する予定。
- ・公共交通を主とした利用客についても継続して買物環境が維持されるよう支援を検討中。

### ポイント

- ・新しいまちづくりの一環で、交流拠点整備とともに地域スーパーの経営環境の改善を図る。



現在の店舗（江府町江尾地区）



移動販売の状況

## (7) なだて明るいノーソン (倉吉市)

### 概要

平成29年1月のJA店舗閉店を受け、地域住民の支え合いによるマイクロスーパー「なだて明るいノーソン」を開業。クラウドファンディングを活用し、店舗隣の空きスペースを地域内外の者が利用できる場として整備するなど、地域の交流拠点施設として機能している。

### 経緯

形態：住民団体運営店舗

閉店日：平成29年1月

承継状況：一般社団法人なだてが「なだて明るいノーソン」を平成30年3月に開業

### 取組内容

- ・一般社団法人なだては、①マイクロスーパー事業部（なだて明るいノーソンの運営）、②竹林整備事業部（竹林整備、タケノコ販売）、③除雪・除雪機管理部（歩道除雪による通学路確保など）の事業を展開。
- ・店舗設立には補助金は活用せず、隣接する交流スペースの整備のため令和元年度に令和新時代創造運動のチャレンジ型（クラウドファンディング）を利用し126万円の資金を調達した。
- ・商品調達は全日食チェーン※に加盟し、近隣のスーパーと遜色の無い価格帯での販売を実現している。
- ・保育園の給食食材供給や、地元企業が福利厚生として従業員へ配布するノーソンのみで利用可能な商品券の発行、市内飲食店への仕出し注文仲介、大山乳業農業協同組合のクリスマスケーキ予約仲介など地域の協力（買い支え等）をもらいながら運営している。
- ・灘手地区の各集落（9集落）から社員を出してもらっており、謝金程度で店番をお願いし、地域での支え愛で持続的な経営を実現している。

※全日食チェーン：全国約1000店舗余りの加盟店による食品ボランティアチェーン本部。地域のミニスーパーや個人商店に商品を供給している。

### ポイント

- ・支え愛による地域の協力と全日食チェーンによる商品調達により、地域スーパーの経営を維持し、地域の買物環境を確保している。



なだて明るいノーソン  
(H30.3 オープン)



クラウドファンディングで  
資金を集め整備した交流施設



## (8) 支え愛の店ながえ (米子市)

### 概要

地区から小売店が撤退し、買物弱者が増加した永江地区において、高齢者等が徒歩で買物に行けるよう、食料品等を販売する「支え愛の店ながえ」を自治連合会がオープンし、運営している。

### 経緯

形態：住民団体運営店舗

閉店日：平成12年に団地内のスーパーが閉店

平成23年にスーパー撤退後開店した小型スーパーも閉店

対応状況：「支え愛の店ながえ」を平成29年6月15日に移転オープン

### 取組内容

- ・永江団地は、1970年代(昭和40年代)に開発された県内最大規模の住宅団地であり、分譲の1戸建てや公営住宅が混在する地域である。1985年(昭和60年)に人口のピーク(約4,400人)を迎えたが、団地の偏った年齢構成で一気に少子高齢化が進行し、人口減少やライフスタイルの変化により、2000年には地域からスーパーがなくなった。
- ・車を運転できない人が歩いて気軽に買物に行ける環境をつくるため、自治連合会が、鳥取県地域「支え愛」体制づくり事業補助金を活用し空き店舗を改修、店舗兼交流施設「支え愛の店ながえ」の営業を開始した。
- ・地域の買物支援の取組をさらに発展させ、①健康づくり体操、認知症予防講座の開設、②コミュニティ食堂の開設、③世代間交流イベントの開催など地域での生活を支える取組を実施している。
- ・「支え愛の店ながえ」の活動が拡大し、利用者が増えたことで施設が手狭となったため、日本財団の助成を受けて新たな拠点を整備し、移転オープンした(広さは2.3倍に拡張)。移転後の利用者は約2,000人/月(うち500人は子ども)と移転前の約1.5倍に増加した。
- ・公共交通だけでは対応しきれない地域内の移動を住民の共助による仕組みで対応するため、「永江ささえ愛カーシェアクラブ」を設立しコミュニティ・カーシェアリングの本格運用を開始したり(R1.11.1~)、社会福祉法人こうほうえんとともに「一般社団法人支え愛ネットながえ」を設立し、地域の新たな交流拠点(コミュニティセンターりん Rin)をオープンしたりするなど、地域づくり活動に精力的に取り組んでいる。

### ポイント

- ・地域住民が中心となり、買物、交通、福祉などの多様な地域づくり活動を積極的に行っている。



支え愛の店ながえ  
(R29.6.15 移転オープン)



コミュニティセンターりん Rin (R5.4.22 開所)



## 2 移動販売

### (1) さじ式拾壺（鳥取市）

- ・移動販売による買物支援(週2日(火・水)と見守り活動(週3日(月・木・金)、月約290世帯))を実施
- ・H24に県の移動販売車等導入支援を活用して移動販売車を整備。H25.1月から移動販売を開始。
- ・県の買物福祉サービス支援事業(買物支援と見守りを合わせた事業)を活用し事業を継続している。
- ・佐治町内の山林整備や農地維持、除雪、ゆうパックの集荷受付、切手販売も受託して実施。
- ・NPO法人さじ未来が行う共助交通による買物利用と合わせて地域の買物環境を確保している。

#### <会社概要>

社名 株式会社 さじ式拾壺  
 所在地 鳥取県鳥取市佐治町加瀬木 2519 番地 3  
 創業・設立年月 平成7年1月30日  
 資本金 3,000万円  
 代表者 茂上 正道  
 従業員数 7名(令和5年4月現在)  
 主な事業内容 農作業受託・農林業受託・道路管理受託・山王谷キャンプ場、たんぼり荘・ゆうパック集荷受付、切手取り扱い・買い物支援・佐治町 B&G 海洋センター・どぶろくどんでん返し

### (2) フードセンター小嶋（若桜町）

- ・トスク若桜店の閉店に伴い若桜町内のトスクの移動販売も終了となったことを受け、町商工会を通じて承継の働き掛けを行い、それに応じて町内で個人商店を営んでいたフードセンター小嶋が移動販売車両を譲り受け(町の支援を受けフードセンター小嶋がJAから購入)、事業を承継。
- ・町商工会が開業に向けた相談や準備等支援のサポートを実施。
- ・販売エリアはトスクの路線を引継ぎ、10月16日から運行開始。



月	火	水	木	金	土・日
10:40 湯原 バスステーション	10:38 湯原 各バス停留所	10:35 高野 地区内	10:45 湯原 高野広場	10:40 湯原 地区内	
10:55 湯原 湯原町役所	10:45 湯原 バス停、湯原	10:55 上高野 地区内	11:05 小嶋 記念碑付近	11:05 湯原 湯原地区	
11:15 吉川 地区内	11:15 若桜谷 空き地	11:15 三倉 地区内	11:30 寺前 公民館	11:30 湯原 湯原地区	
11:35 吉川 駐車場	11:35 つく美 公民館前	11:30 若桜団地 公民館の先	11:45 大野 集会所	11:55 湯原 バス停、湯原	
13:30 若桜谷 地区内	13:35 香田 地区内	11:55 湯井 地区内	12:00 加地 公民館	12:25 若桜谷 空き地	
13:45 湯原 公民館	13:45 湯原 地区内	13:40 赤松 西大橋前	13:40 吉川 地区内	12:40 つく美 公民館前	
13:55 中野 日ぶれあじ堂	14:00 大炊 地区内	13:55 湯見野 バス停前	14:05 吉川 駐車場	14:00 湯原 湯の手前	
14:10 中野 神社前	14:10 湯野・神道 各地区農産物	14:15 湯原 湯の手前	14:40 中野 日ぶれあじ堂	14:30 湯見野 バス停前	
14:25 加地 公民館	14:25 赤白旗 地区内	14:25 内岡 公民館	14:50 中野 神社前	14:45 赤松 湯火地蔵	
14:40 大野 集会所	14:30 湯原 地区内	15:05 湯原 地区内	15:10 湯原 公民館	15:35 若桜団地 公民館の先	
14:55 寺前 公民館	15:15 口屋堂 地区内	15:15 寺前 広場	15:25 若桜谷 地区内	15:30 高野 公民館	
15:15 小嶋 記念碑付近	15:30 湯原 地区内		15:40 湯原 湯の手前	15:50 上高野 地区内	
15:35 湯原 高野広場			16:00 湯原 バスステーション	16:05 三倉 地区内	

### (3) 創美（岩美町）

- ・「フレッシュライフいわみ」（JA系スーパー）の閉店に伴い、JAが実施する移動販売業務の受託事業者がなくなったことを受け、町内で建設業等を営む（株）創美が従来と変わらない方式で受託業務を承継し、10月24日から移動販売車の運行を再開した。
- ・移動販売車は毎週月曜日から土曜日までの6日間、町内各地を回る。

### (4) とくし丸（東部・中部地域）

- ・本県東中部地域を中心にとくし丸が移動販売を展開中。
- ・八頭町のトスクふなおか店及び丹比店の閉店にあたり、ふなおか店では近隣の町有地で、丹比店では八頭町役場八東支所の駐車場で、毎週土曜日にとくし丸が移動販売を出店し、店舗周辺の買物困難者への買物環境を確保した。
- ・鳥取県東・中部地域で甚大な被害をもたらした令和5年8月台風7号災害の際に、とくし丸の移動販売車両が緊急的に販売ルートを拡大し、避難所となった公民館へ出張販売し、避難者へ買物の機会を提供した。
- ・とくし丸の移動販売は、本県内で11台※が運行中。（エスマート関係9台、天満屋ストア関係2台）

※とくし丸ホームページでの令和5年2月14日更新の発表値

<とくし丸の仕組み>

（株）とくし丸と地元スーパーが提携し、移動販売車両で販売する個人事業主（販売パートナー）を募集し、「販売代行」を行うもの。



### 3 移動支援

#### (1) のりりん (智頭町)

- ・トスクちづ店が閉店したが、地域住民の買物環境は、AI 乗合タクシー「のりりん」の買物利用により対応。
- ・町内には、承継された店舗以外にも、スーパーやドラッグストアなど食料品や日用品の小売店舗が複数あり、各店舗が乗合タクシーの乗降ポイントに指定されており、車を持たない町民も容易に小売り店舗へ移動することが可能。

<「のりりん」について>

- ・持続可能な交通体系の構築を目指し、町民バス「すぎっ子バス」を廃止し、地域住民参加型の「共助交通」を導入。
- ・共助交通の運行を効率的に行い、地域の住民が日常的に利用できる利便性の高い交通基盤とするため、「のりりん」では乗合せでの運行を行うとともに、運行管理システムにAIを用いる。

#### 地区別乗降ポイント一覧表



※カテゴリ別、五十音順で表示しています

智 頭			富 沢		
カテゴリ	名前	名前	カテゴリ	名前	名前
駅	智頭駅前ロータリー	智頭駅前ロータリー	駅	宇波バス停	宇波バス停
バス停	久志谷橋バス停	久志谷橋バス停	バス停	口波多バス停	口波多バス停
	彰神社前バス停 (川側)	彰神社前バス停 (川側)		口合バス停	口合バス停
	諏訪保育園前バス停	諏訪保育園前バス停		中田バス停	中田バス停
	ちづ保育園バス停	ちづ保育園バス停		豊明バス停	豊明バス停
	智頭小学校前バス停	智頭小学校前バス停		新見バス停	新見バス停
	加瀬中学校バス停 (テニスコート側)	加瀬中学校バス停 (テニスコート側)		波多下バス停	波多下バス停
	智頭中学校前バス停 (学校側)	智頭中学校前バス停 (学校側)		波多バス停	波多バス停
	中島(下)バス停集落側	中島(下)バス停集落側		波多バス停	波多バス停
	中町バス停 (集落側)	中町バス停 (集落側)		分谷バス停	分谷バス停
	湯屋バス停 (集落側)	湯屋バス停 (集落側)		豊農寺口バス停	豊農寺口バス停
公共	飯井原公民館	飯井原公民館	公共	宇波橋	宇波橋
	石谷家住宅	石谷家住宅		国原橋 (口波多)	国原橋 (口波多)
	市瀬-1	市瀬-1		口宇波	口宇波
	市瀬新道線入口	市瀬新道線入口		口波多公民館	口波多公民館
	神神公民館	神神公民館		坂原公民館	坂原公民館
	岡田待遊所	岡田待遊所		白玉ゴミステーション前	白玉ゴミステーション前
	沖代農舎住宅団地駐車場入口	沖代農舎住宅団地駐車場入口		惣地公民館	惣地公民館
	沖代公民館前 (分岐点)	沖代公民館前 (分岐点)		惣地駐車場	惣地駐車場
	河一広場	河一広場		富沢コミュニティセンター	富沢コミュニティセンター
	久志谷児童館	久志谷児童館		富沢郵便局	富沢郵便局
医療	久志谷土師川治待遊所	久志谷土師川治待遊所	その他	惣地駐車場	惣地駐車場
	下中島集落内	下中島集落内		中田公民館	中田公民館
	下町公民館	下町公民館		豊農寺	豊農寺
	彰山谷ゴミステーション前	彰山谷ゴミステーション前			
	ちえの森ちづ図書館	ちえの森ちづ図書館			
	智頭警察署	智頭警察署			
	智頭消防署	智頭消防署			
	智頭町観光協会	智頭町観光協会			
	智頭町総合センター	智頭町総合センター			
	智頭町役場	智頭町役場			
飲食店	智頭農林高等学校 (正面玄関前)	智頭農林高等学校 (正面玄関前)			
	智頭郵便局	智頭郵便局			
	神成村	神成村			
	鳥巣公民館	鳥巣公民館			
	中前製材前広場	中前製材前広場			
	中町公民館	中町公民館			

(R6. 3. 15 現在  
智頭町ホームページより)

## (2) タクシー助成 (北栄町)

- 旧北条町唯一のスーパーであるAコープ下北条店の閉店に伴い、近隣のスーパー等への移動困難者の対応として、従前より行っているタクシー利用券による利用料助成券(町内限定 300 円定額チケット)の追加交付を行うことで、買物環境の確保対策を講じた。

令和5年度版

### 北栄町タクシー利用料助成のご案内

北栄町では、町民の交通利用の確保と負担軽減を目的に、タクシー利用券による利用料助成を行っています。

#### 利用できる方

町内にお住まいで、使用できる自動車がない方、またはその他(1)のみの場合を除く。運転できない理由がある方で、以下のいずれかに該当する方。

- 満65歳以上の方
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
- 運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書を受け取っている方
- 道路交通法第103条第1項第1号から第2号に基づく処分を受けている方

※体調の変化等により一時的に運転ができなくなった方については、公安委員会により(4)の処分を受けた方に限り対象となります。

#### 申請から利用まで

**申請場所** 北栄町役場 福祉課(大栄庁舎1階)または、北条支所

**申請に必要なもの**

- 来庁者の本人確認書類
- 申請理由を証明するもの(年齢確認書類・身障手帳・運転経歴証明等)
- チケット利用者本人と同一世帯員でない方が来庁される場合は、委任状または代理権確認書類(チケット利用者本人の保険証等)

**ご利用方法**

- 料金をお支払いの時に利用券を運転手に渡し、助成金を差し引いた額をお支払いください。※チケットの切り取りは運転手が行います。

**チケットの取り扱いについて**

- 1回の乗車につき1枚利用できます。
- 利用券は本人のみ利用できます。(家族や他人へ譲渡できませんが、チケット利用者との同乗は可能です)
- 汚損・紛失等された場合は再交付できません。
- 運転経歴証明書、各種障害者手帳のタクシー運賃割引と併用可能です。
- チケットを追加する際は、必ず表紙をご持参ください。
- 残ったチケットは、次年度の申請時、または不要になった時点でご返却ください。

**注意事項** 間違った利用(利用期限切れのチケットの利用や乗降場所の間違い等)が発覚した場合、町負担分を返金していただきますのでご了承ください。

助成の詳細については裏面をご覧ください

### 助成は2種類です

#### 1 町内限定 300 円定額チケット

※町内利用に限り、片道一律300円で利用できるチケットです。

**利用できる区間** ⚠️ 待ち・寄り道・往復はできません

乗降場所いずれも北栄町内である場合、利用券を利用できます。

※1度の乗車で複数回を積算することし、再乗車以降の運賃等を同一の積算としないこと、かつ、乗降地点と乗降地点が同一でないことの場合を減額する利用形態とする。

○利用券を使う場合

- 町内→町内

×利用券を使えない場合

- 町内を通すだけ
- 町外→町外
- 町内→町外
- 町外→町内
- 例1:「自宅→役場→スーパー」と乗り継いだ場合
- 例2:再乗車するためにタクシーを待機させ、待ち料金が発生した場合

**利用券(チケット)について**

- 交付枚数は、年間30枚が上限です。(30枚をまとめて交付し、追加はできません)

#### 2 北栄町タクシー利用料助成券

※片道80円まで助成するチケットです。

**利用できる区間**

乗降場所のいずれかが北栄町内である場合、利用券を利用できます。(寄り道も可能です)

○利用券を使う場合

- 町内→町内
- 町内→町外
- 町外→町内

×利用券を使えない場合

- 町内を通すだけ
- 町外→町外

**利用券(チケット)について**

- 交付枚数は、年間70枚が上限です。(初回交付上限30枚、年間上限内で追加交付可能)
- 1枚につき最高80円助成しますが、利用者も最低30円自己負担となります。

**【利用できるタクシー会社】**

●日本交通 22-7111	●日ノ丸ハイヤー 22-3155	●倉吉交通 22-1511
●由良タクシー 37-2110	●ことら交通 27-1636	

【お問い合わせ】北栄町役場福祉課(大栄庁舎1階) TEL: 37-5875(直通) FAX: 37-5339

## (3) デマンドバス (大山町)

- 従前からデマンドバスの見直しを検討していたが、旧名和町内唯一のスーパーであるAコープ名和店の閉店を契機に、令和6年4月から6か月間の試験運行で、運賃を一律100円(現行500円~1500円)に値下げし、乗降場所も利用者宅近くの車両乗り入れ可能場所とする。これにより小売店舗への移動手段の拡充につなげていく。
  - 既存の予約制デマンドバスは、運賃や利便性が課題となっており、試験運行による運賃値下げによる利用状況を検証し、今後の運賃改定や利便性の向上策を検討していく。
- ※旧Aコープ名和店(大山町)については、地元のスーパー「エムマート」が承継し、3月3日にオープン。



### スマイル大山号のご利用イメージ

まずは予約(出発1時間前までに)

0800-200-4894

予約センター

乗降AからOO(目的地)まで

乗降BからOO(目的地)まで

乗降CからOO(目的地)まで

目的地

※スマイル大山号は、「乗り合い」で運行しています。

#### ご利用できる乗り方

- 「集落の集会所等」と「目的地」の間
- 「目的地」と「目的地」の間
- 「集落の集会所等」と「集落の集会所等」の間

## (4) 予約型乗合タクシー（倉吉市）

- ・ 関金地区唯一のスーパーであったAコープせきがね店が閉店し、地域の買物環境の維持が課題となる中、路線バスも利用者数の低迷や行政負担の増加が深刻化している。こうした地域課題を解決するため、エネルギーと公共交通を基軸とした持続可能で暮らしやすい地域を目指し、乗合タクシーの運行や買物支援の仕組みの検討を令和5年度から実施している。
- ・ 地域に公共交通サービスを提供する交通事業者の他、地域内の再生可能エネルギー活用に取り組む電力会社、住民組織、地域に根差した交流施設・拠点等と連携・協働し、①外出を促進する予約型乗合タクシーの実証運行、②行政施設を活用した買物拠点整備との連携、③乗合タクシーを活用した高齢者等への買物支援、④高齢者等へのIT利活用の推進と支援、⑤再生可能エネルギーを活用した持続可能な仕組みの検討を行う。

### 関金地区版シャットベルケの構築に向けたエネルギー・買い物支援・生活拠点×交通の共創事業の概要 (関金地区版シャットベルケ共創プラットフォーム)



## (5) 買物バス運行（若桜町、八頭町）

- ・トスク若桜店の閉店に伴い、若桜町では、店舗承継までの空白期間の対応として、店舗閉店後に速やかに町営の買物バスを運行し、移動困難者への対策を講じた。
- ・若桜町の買物バスでは、町外店舗（エスマートつのい店）へ週2、3回送迎し、多い時は定員ぎりぎりの26名、少ない時で3名、平均して13～14名の利用状況であった。店舗が承継されたため、エスマートわかさ店のオープン（11/28）に合わせ、11月27日をもってバスの運行を終了した。
- ・トスクふなおか店及び丹比店の2店舗が閉店した八頭町でも、各店舗を発着として最寄り店舗（同町内のスーパー）へ週1～2回買物送迎バス運行していたが、船岡は、町営バスの乗り継ぎを改善したため終了、丹比はエスマートわかさ店のオープンに伴い、1月11日で終了。現在は、65歳以上の方を対象とした若桜鉄道定期券の購入助成事業を実施し、公共交通機関での買物移動へシフト。

### 若桜町「買い物バス」の運行について

<時刻表>

若桜駅発	エスマート(津/井店)着	エスマート(津/井店)発	若桜駅着
13:45	14:25	15:05	15:45
行き 40分		帰る 40分	
ご自宅から若桜駅まで町営バス・日交バスをご利用の方は下記のバスをご利用ください			
【行き】・町営バス巻米線 13:34 若桜駅着 / 落折・吉川線 13:36 若桜駅着			
・日交バス(八頭若桜線) 12:58 若桜駅前着			
【帰る】・町営バス巻米線 16:10 若桜駅発 / 落折・吉川線 16:06 若桜駅発			
・日交バス(八頭若桜線) 16:03 若桜駅前発			
※町営バスデマンド便、共助交通(わあすか・てご・らくらく号)もご利用ください			

<10月の運行カレンダー> 黄色がバスの運行日です

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

<備考>

- ・目的地(エスマート津/井店)以外での停車は行いません。
- ・若桜駅以外での乗降はできませんのでご了承ください。
- ・当日、若桜駅発の乗客が無かった場合は運行を休止します。
- ・悪天候等により運休する場合には町防災無線等でお知らせします。



- <参考> ※各店舗の閉店・休業期間
- ・トスク若桜店 9月30日 閉店
  - ・トスク移動販売 9月29日 終了
  - ・道の駅若桜 10月1日～6日 休業

(お問い合わせ)  
若桜町役場企画政策課内(買い物環境整備対策室)  
電話 0858-82-2231(IP982-2231)

## 八頭町民対象 若桜鉄道シルバー定期券 購入助成事業

期間中何度でも購入可能!!

定期券の購入費用の一部を助成することで、買い物の移動手段の確保と公共交通の利用促進を図ります。この機会にぜひ若桜鉄道のシルバー定期券をご購入ください。

シルバー定期券・・・購入月数に応じて、若桜鉄道全区間を、いつでも何度でもご利用いただける便利な定期券です。

**対象者** 八頭町在住の65歳以上の方で、令和5年12月25日以降に定期券を購入された方

定期券の区分	販売価格	助成額	差し引き購入価格
シルバー1か月	3,000円	600円	2,400円
シルバー3か月	9,000円	1,800円	7,200円
シルバー6か月	18,000円	3,600円	14,400円

**申請書** 定期券購入時にご記入いただく用紙でお申込みいただけます。

**申請方法並びに助成金の支払い方法**

①定期券購入時に、住所、年齢がわかる保険証や身分証明書をご持参ください。  
②確認後、正規料金から助成金の額を差し引いた金額で購入できます。

**申請期間** 令和5年12月25日(月) から当面の間

**定期券購入窓口** 若桜駅・丹比駅・安部駅・因幡船岡駅・八頭町観光協会(JR郡家駅内)各窓口

お問い合わせ 若桜鉄道利用促進実行委員会事務局(八頭町役場企画課内)  
〒680-0461 八頭町郡家433番地 TEL:0858-76-0212

## 4 その他

### (1) 買物代行サービス (倉吉市)

・A コープせきがね店閉店に伴い、地域の振興協議会による買物バスツアー、買物代行などを実施。

「買物ツアー」：倉吉市関金庁舎又は最寄りのバス停から、JA 旬鮮プラザ満菜館（農産物直売所）、東宝ストア西倉吉店などを回るルートを実行（7月下旬～）

「買物代行」：買物代行サポーターを地域で募り、地元のローソン関金温泉店で代行購入（8月下旬～）



**利用料無料**

## 買い物ツアー

バスに乗って市内のスーパーへお買い物に出かけませんか？  
月に2回、バスに乗って市内へお買い物に出かけます。  
「満菜館」と「東宝ストア西倉吉店」を回ります。  
バスに乗る場所は、最寄りのバス停又は関金庁舎になります。  
利用されたい方は、申込書をご記入の上、関金コミュニティセンターまで提出してください。

運行日程 毎月中旬・下旬の2回（午後1時～午後4時）  
運行日 7月26日（水）、8月9日（水）・24日（木）  
9月13日（水）・27日（水）  
申込締切 運行日の2週間前

13:00～	関金庁舎出発 各バス停（南谷⇒山守⇒矢送）
14:00～14:30	満菜館（30分）
14:40～15:10	東宝ストア西倉吉店（30分） 各バス停（矢送⇒南谷⇒山守）
16:00	関金庁舎着

【申込み・お問い合わせ先】 関金コミュニティセンター TEL0858-45-2119

**利用料30分 250円**

## 買物代行 関金地区振興協議会

日常の食料品の買物をしてほしいとき、買物代行サポーターを派遣します。  
日常生活において、食料品の買物に手助けが必要な場合『買物代行サポーター』を派遣します。  
買物代行を始める前にローソン関金温泉店までお連れし、販売されている品物を見ていただくことも可能です。

<p><b>買物代行の内容</b> ローソン関金温泉店で、依頼のあった食料品等を買出し、自宅までお届けします。</p>	<p><b>対象者</b> 関金地区にお住まいの方で、買物代行が必要な方</p>
<p><b>利用開始月・利用時間・利用料金</b> 1 令和5年8月から 2 月曜日～木曜日 午後1時～午後4時 3 利用料金 30分250円</p>	<p><b>利用方法</b> 1 利用依頼 利用されたい方は、この利用申込書を記入の上、関金コミュニティセンターへ提出ください。 2 「買物代行サポーター」の派遣 利用申請を行い、利用チケット及びクオカードを購入された方は、関金コミュニティセンターにご連絡いただくと、買物代行サポーターがお伺いし、購入商品のメモとクオカードをお預かりします。 3 お支払 利用料金は、利用チケットでお支払いください。 買物代は、代行サポーターがお預かりしたクオカードで支払いします。</p>
<p><b>事前登録</b> 1 買物代行を利用される方は、事前登録が必要になります。 <b>利用チケット・クオカードの購入</b> ◆買物代行を利用するには、下記の事前購入が必要です。 1 利用チケット（10枚組） ○ 関金コミュニティセンターで販売 2 クオカード ○ ローソン関金温泉店で販売 ※買物代行サポーターが利用チケット・クオカードの購入を代行します。</p>	<p><b>お申込み・問い合わせ</b> 関金コミュニティセンター 電話 45-2119 FAX 45-6003</p>

## (2) オンライン発注システム実証事業（八頭町、米子市）

- ・八頭町では、県内 IT 事業者（株）アクシスが開発したオンライン発注システム「地域密着型基盤システム Bird（バード）」の中山間地域での導入に向け、実証試験を令和5年11月上旬から開始。宅配サービスを展開するアクシスと町が連携し、インターネットによる注文で食品や日用品を配達する。町内の福祉施設4か所にパソコン端末を置き、週1回注文を受け付ける。アクシスの支援員がパソコン操作や注文をサポートし、週2回配送。また、配送先が船岡地域であれば、町民誰もが注文できる仕組みを構築。
- ・米子市では、地域共創型生活プラットフォーム協議会が実施主体となり、令和5年12月上旬からインターネットを通じて注文した商品を公民館や自宅に配送する実証実験を開始。実証は、八頭町と同じく（株）アクシスが手がける地域密着型生活プラットフォーム Bird（バード）を利用。米子市内3地区（明道地区、県地区、尚徳地区）で2月末まで実施。

（地域共創型生活プラットフォーム協議会の構成員）

（株）アクシス【IT事業者】、（株）丸合【地元スーパー】、いなほホールディングス（株）【ホームセンター】、（株）サンマート【地元スーパー】、（有）徳吉薬局【薬局】、（株）さんびる【ビルメンテナンス】、（株）みずほ銀行【銀行】、米子市【行政】

### 《バードの実証実験における注文・配送の流れ》



事業説明会の様子（八頭町）



実証事業の様子（八頭町）

### (3) 給食食材の受入体制整備（琴浦町）

- ・琴浦町内のAコープ赤碕店、トピア店は、小中学校、保育施設、介護施設などの給食食材の当日の早朝配送を行っており、店舗の閉店に伴い、給食食材の配送への対応が必要となった。

#### <Aコープ赤碕店>

店舗は県内のスーパー事業者（東宝企業（株））に承継されたが、当日の早朝配送の業務引継は困難であったことから、給食食材の配送を依頼する施設側（こども園）が冷凍冷蔵庫等の拡張を行い、前日からの食材の受け入れ体制を整え、東宝ストア赤碕店からの調達を実現した。

また、給食食材の配送を受けていた船上山少年自然の家（県の教育研修施設）は、店舗からの距離が遠く、運送の担い手が課題となったが、地域の運送会社の協力を経て、食材の調達を実現することができた。

#### <Aコープトピア店>

店舗の閉店（R6.3.26閉店予定）に当たって、給食食材を発注する施設側（保育園・学校給食センター）が冷凍冷蔵庫等の拡張を行い、前日からの食材の受け入れ体制を整える予定である。

また、町立小中学校では、給食食材の地産地消を進めるため、鳥取中央農協の組合員で組織する琴浦町学校給食野菜会から農産物の調達を行っているが、給食センターからの受注対応や、過不足等の最終調整、配送業務のほか、商品代金の出納事務など、一連の業務をトピア店が担っていたため、店舗閉店により当該業務の担い手が必要となった。

このため鳥取中央農協では、学校給食野菜会、トピア店、直売所等により店舗閉店後の対応について検討し、同農協の直売所（あぐりポート琴浦）が業務を引き継ぐことが決定した。

- ・JA系スーパーの閉店によって生じた給食食材の課題に対し、行政、地元企業、利用施設など、地域の関係者がそれぞれ協力し合うことで、課題の解決を図るとともに、地域による地元スーパーの買い支えを進めることができた。